

(様式例第11)



JA徳厚本発第 542 号  
令和元年 10 月 1 日

徳島県知事  
飯泉 嘉門 殿

住 所 徳島県徳島市北佐古 1 番町 5 番 1 2 号

申請者 徳島県厚生農業協同組合連合会  
氏 名 代表理事理事長 齋藤 伸一

### 阿南中央病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

### 記

#### 1 開設者の住所及び氏名

住所	〒770-0011 徳島県徳島市北佐古 1 番町 5 番 1 2 号
氏名	徳島県厚生農業協同組合連合会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

#### 2 名称

阿南中央病院
--------

#### 3 所在の場所

〒774-0045 徳島県阿南市宝田町川原2番地 電話 ( 0884 ) 22 - 1313
--

#### 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	50床	179床	229床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
ハイケアユニット HCU	(主な設備) DC (ライフパック9) BF用ペンタックス光源装置 気管支F 心電計 ベッドサイドモニター 人口呼吸器 HD 病床数 5床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置 (BM6050) フジドライケム7000 アーキテク トi1000SR 検査システム (SUN) 尿分析装置 BC-ロボ 遠心機 顕微鏡
細菌検査室	(主な設備) オートクレープ 顕微鏡 フラン器
病理検査室	(主な設備) 凍結切片作製装置 自動包埋装置 パラフィンブロック作製装置 顕微鏡 ミクロトーム
病理解剖室	(主な設備) 解剖台 臓器重量測定器 無影灯
研究室	(主な設備) 会議机 椅子 テレビ DVD シャーカステン
講義室	室数 1 室 収容定員 100人
図書室	室数 2 室 蔵所数 1,500冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー コールボタン 酸素ポンペ 保有台数 2台
医薬品情報管理室	[専用室] 床面積 33.58㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	50.9 %	算定期間	H30年 4月 1日～ H31年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	96.2 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数		1,829人
	B : 初診患者の数		3,593人
	C : 逆紹介患者の数		3,458人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

# 地域医療支援病院紹介率 30年度

H30.4～H31.3

月	A	B 休日夜間	計	紹介患者	紹介率
	初診患者	救急外来数			
4月	421	98	323	146	45.2%
5月	414	74	340	151	44.4%
6月	453	78	375	175	46.7%
7月	422	123	299	152	50.8%
8月	452	89	363	186	51.2%
9月	279	38	241	147	61.0%
10月	369	27	342	198	57.9%
11月	309	28	281	155	55.2%
12月	288	28	260	144	55.4%
1月	291	42	249	121	48.6%
2月	283	28	255	127	49.8%
3月	294	29	265	127	47.9%
合計	4,275	682	3,593	1,829	50.9%

# 地域医療支援病院逆紹介率 30年度

H30.4~H31.3

月	初診患者	逆紹介患者	紹介率
4月	323	233	72.1%
5月	340	254	74.7%
6月	375	253	67.5%
7月	299	246	82.3%
8月	363	284	78.2%
9月	241	224	92.9%
10月	342	307	89.8%
11月	281	277	98.6%
12月	260	274	105.4%
1月	249	307	123.3%
2月	255	322	126.3%
3月	265	477	180.0%
合計	3,593	3,458	96.2%

$$\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100 = \text{逆紹介率}$$

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 非専従	7.25	
2	医師		常勤 非専従	7.25	
3	医師		常勤 非専従	7.25	
4	医師		常勤 非専従	7.25	
5	医師		常勤 非専従	7.25	
6	医師		常勤 非専従	7.25	
7	医師		常勤 非専従	4.35	
8	医師		常勤 非専従	7.25	
9	医師		常勤 非専従	7.25	
10	医師		常勤 非専従	7.25	
11	医師		常勤 非専従	7.25	
12	医師		常勤 非専従	2.85	
13	医師		常勤 非専従	7.25	
14	看護師		常勤 非専従	7.25	
15	看護師		常勤 非専従	7.25	
16	看護師		常勤 非専従	7.25	
17	看護師		常勤 非専従	7.25	
18	看護師		常勤 非専従	7.25	
19	看護師		常勤 非専従	7.25	
20	看護師		常勤 非専従	7.25	
21	看護師		常勤 非専従	7.25	
22	看護師		常勤 非専従	7.25	
23	看護師		常勤 非専従	7.25	
24	看護師		常勤 非専従	7.25	
25	看護師		常勤 非専従	7.25	
26	看護師		常勤 非専従	7.25	
27	看護師		常勤 非専従	7.25	
28	看護師		常勤 専従	7.25	
29	看護師		常勤 専従	7.25	
30	看護師		常勤 専従	7.25	

31	看護師		常勤	専従	7.25	
32	看護師		常勤	専従	7.25	
33	看護師		常勤	専従	7.25	
34	看護師		常勤	専従	7.25	
35	看護師		常勤	専従	7.25	
36	看護師		常勤	専従	7.25	
37	看護師		常勤	専従	7.25	
38	看護師		常勤	専従	7.25	
39	看護師		常勤	専従	7.25	
49	看護師		常勤	専従	7.25	
41	看護師		常勤	専従	7.25	
42	看護師		非常勤	専従	6.25	
43	看護師		非常勤	専従	6.25	
44	看護師		非常勤	専従	6.75	
45	看護師		非常勤	専従	6.1	
46	看護師		非常勤	専従	6.15	
47	看護師		非常勤	専従	3.9	
48	准看護師		非常勤	専従	6.75	
49	薬剤師		常勤	非専従	7.25	
50	薬剤師		常勤	非専従	7.25	
51	薬剤師		常勤	非専従	7.25	
52	薬剤師		常勤	非専従	7.25	
53	薬剤師		常勤	非専従	7.25	
54	検査技師		常勤	非専従	7.25	
55	検査技師		常勤	非専従	7.25	
56	検査技師		常勤	非専従	7.25	
57	検査技師		常勤	非専従	7.25	
58	検査技師		常勤	非専従	7.25	
59	検査技師		常勤	非専従	7.25	
60	検査技師		常勤	非専従	7.25	
61	検査技師		常勤	非専従	7.25	
62	検査技師		常勤	非専従	7.25	
63	検査技師		非常勤	非専従	5.25	

64	放射線技師	常勤	非専従	7.25	
65	放射線技師	常勤	非専従	7.25	
66	放射線技師	常勤	非専従	7.25	
67	放射線技師	常勤	非専従	7.25	
68	放射線技師	常勤	非専従	7.25	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	5床
専用病床	5床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急診察室	11.83 m <sup>2</sup>	心電図モニター 超音波診断装置 除細動器 ベッドサイドモニター	可
救急処置室	31.69 m <sup>2</sup>	簡易人工呼吸器 心電計 無影灯 ストレッチャー バイポーラ 生体情報モニター 輸液ポンプ	可
<del>MRI室</del>	<del>42.40 m<sup>2</sup></del>	<del>日立 FCHELOW Vega 心電図モニター 救急カート</del>	<del>可</del>
CT室	32.08 m <sup>2</sup>	東芝 AQUILION PRIME TSK-303A 心電図モニター 救急カート	可
血管造影室	53.55 m <sup>2</sup>	フィリップス INTEGRIS-CV	可
X線一般撮影室 ①	22.46 m <sup>2</sup>	日立一般撮影：DHF-155H II	可
X線一般撮影室 ②	31.50 m <sup>2</sup>	日立一般撮影：DHF-158H II	可
透視室	24.06 m <sup>2</sup>	日立透視撮影装置：TU-6000	可

## 4 備考

救急告示病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。



既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

## 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	252 人 ( 108 人)
上記以外の救急患者の数	522 人 ( 54 人)
合計	774 人 ( 162 人)

（注）それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

平成30年度 救急車搬入件数 252件

$$\frac{252}{121,614} \times 1,000 = 2.07$$

$$\frac{\text{救急搬入件数}}{\text{徳島南部 I の救急医療圏人口}} \times 1,000 \geq 2$$

※救急医療圏人口は徳島県統計情報より抜粋（2019.3.1現在）

## 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用医療機関延べ数	505 件
(内 開設者と直接関係がない医療機関延べ数)	(505)件
共同利用病床利用率	25.0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

共同利用高額医療機器の使用状況				
H30.4.1 ~ H31.3.31				
検査名	直接紹介	間接紹介	その他	合計
MRI				
CT	548	929	1,395	2,872
腹部エコー	16	35	321	372
マンモグラフィー	0	319	858	1,177
X線テレビ	0	42	128	170
血管造影撮影装置	0	0	0	0
GF	87	318	125	530
CF	103	11	89	203
ERCP	0	0	0	0
BF	14	0	19	33
ESWL	31	0	21	52

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有  無  
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：  
 職種：

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙①のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	179 床
--------------	-------

# 阿南中央病院開放病床実施細則

## (趣 旨)

第1条 阿南中央病院開放病床の運営手続等については、この細則により実施する。

## (登録及び抹消手続)

第2条 登録医の指定を受けようとするものは、登録申請書(様式第1号)を阿南市医師会長に提出するものとする。

2 医師会長は、前項の登録申請書に推薦書を添え、阿南中央病院長に推薦するものとする。

3 阿南中央病院長は、医師会長から推薦のあった医師につき、登録医の指定を行ない、登録証(様式第2号)を交付する。

4 登録の抹消は、本人の申請(様式第3号)をもって喪失するものとする。

## (登録医の診察)

第3条 登録医の診察は、阿南中央病院の看護師詰所に登録書を提示し、担当の看護師を同行し行なうものとする。

2 診察に際しては診察時間及び診察記録を診療録に記載するが、治療については、直接指示を行なわないものとする。

## (入院及び退院)

第4条 入院にあたっては緊急の場合を除き、登録医は紹介状等により病院医師の許可を得て入院させるものとする。

2 退院にあたっては、担当医は登録医と退院の時期及び退院後の治療方針を協議するものとする。

## (高額医療機器の共同利用)

第5条 登録医は、病院担当医の行なう診療業務について高額医療機器の共同利用をしようとするときは、あらかじめ担当医にその旨申出るものとする。

## (症例検討会への参加)

第6条 登録医は、阿南中央病院の症例検討会に参加しようとするときは、関係診療科の診療部長又は担当医に事前に申出るものとする。(資料の持出し禁止)

第7条 登録医は、共同診療に係る患者の診療録、フィルム等一切の資料の持ち出しはできない。

附則

この細則は、平成28年4月1日から実施する。

## 別紙①

医療機関名	開設者名	住所	主診療科	経営上の関係
上村ヒフ科		阿南市大湯町30	皮膚	無
原田病院		阿南市富岡町あ石14-1	整	無
森本内科胃腸科		阿南市富岡町あ石16-1	内	無
玉真病院		阿南市宝田町荒井20	外	無
富士医院		阿南市新野町西馬場3-3	内	無
社のホスピタル		阿南市見能林町築溜1-1	精神	無
岸医院		阿南市富岡町トノ町54-1	小	無
三谷内科		阿南市富岡町東仲町313-2	内	無
井原医院		阿南市見能林町中かうや9番1	内	無
あなん川島クリニック		阿南市羽ノ浦町古庄大坪原42-7	内	無
殿谷整形外科医院		阿南市津乃峰町戎山149-75	整	無
木下産婦人科内科医院		阿南市学原町上水田11-7	産婦	無
林整形外科		阿南市見能林町堤ノ内 6-1	整	無
高橋内科クリニック		阿南市羽ノ浦町宮倉前田3-7	内	無
和田胃腸科内科医院		阿南市西路見町元村7-7	胃腸	無
廣瀬医院		阿南市上中町岡293-1	内	無
むらかみ内科循環器クリニック		阿南市羽ノ浦町宮倉太田35-2	内	無
松尾医院		阿南市内原町長谷64-1	脳外	無
生野外科胃腸科		阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ15-1	外	無
益崎胃腸科内科医院		阿南市那賀川町赤池178-2	内	無
村上内科外科医院		阿南市那賀川町中島482	外	無
富永医院		阿南市羽ノ浦町中庄市49-3	内	無
井坂クリニック		阿南市津乃峰町長浜376-1	内	無
けんなんメンタルクリニック		阿南市日開野町筒路15-1 阿南開発ビル5F	心療内	無
きくち医院		阿南市新野町南宮ノ久保67-4	内	無
島内科眼科医院		阿南市富岡町東新町99	内	無
阿南天満クリニック		阿南市上中町南島325-1	内	無
瀧内科外科医院		阿南市才見町屋那婆24-1	内	無
原田医院		阿南市桑野町岡元5-1	内	無
岩城クリニック		阿南市学原町上水田11-1	心療内	無
あなん戸田皮膚科医院		阿南市上中町岡357-1	皮膚	無
賀島眼科		阿南市富岡町玉塚5	眼	無
かじかわ整形外科		阿南市日開野町筒路19-14	整	無
あなん皮フ科クリニック		阿南市日開野町谷田511-2	皮	無
古川小児科内科医院		阿南市領家町土倉17-1	小	無
加茂谷診療所		阿南市加茂町野上30	外	無
健生阿南診療所		阿南市津乃峰町新浜12-2	内	無
王子製紙(株)富岡診療所		阿南市豊益町吉田1	内	無
那賀町立上那賀病院		那賀郡那賀町小浜137-1	外	無
日野谷診療所		那賀郡那賀町大久保字太西3-2	外	無
わだ内科		那賀郡那賀町和食郷字南川87-1	内	無

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医学、医療に関する講演会（学術講演会）</li><li>・ 地域の医師等を含めた症例検討会</li><li>・ その他、研修会</li></ul> <p>別紙②のとおり</p>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	13 回
(2) (1) の合計研修者数	399 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有  無  
イ 研修委員会設置の有無  有  無  
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	内科	院長	48 年	教育責任者
	医師	外科	外科診療部長	37 年	
	医師	整形外科	整形外科診療部長	28 年	
	医師	泌尿器科	泌尿器科診療部長	29 年	
	医師	放射線科	放射線科診療部長	31 年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

## 症例報告会開催記録 平成30年度

例会	月日(曜日)	演題	演者	座長	参加人数
平成30年9月	9月20日(木)	症例報告会 7題			70名
		1. 糖尿病専門外来でのインスリン自己注射 初回導入時における看護支援	阿南中央病院	阿南中央病院	
		2. 阿南中央病院における呼吸器診療について	阿南中央病院	阿南中央病院	
		3. 内側型膝関節症に対する外側閉鎖・内側開大式脛骨 高位骨切り術(hybrid HTO)の短中期成績 ～OWHTOとの比較～	阿南中央病院 阿南共栄病院	阿南中央病院	
		4. 骨髄異形成症候群を合併した多臓器浸潤進行横行 結腸癌の1例 ～手術治療および術後化学療法の実験～	阿南共栄病院	阿南共栄病院	
		5. 12年間経過観察を行った胃MALTリンパ腫の一例	阿南共栄病院	阿南共栄病院	
		6. 小脳梗塞の1例	阿南共栄病院	阿南共栄病院	
		7. 当院における27例のM蛋白血症の臨床的検討	三谷内科	むらかみ内科循環器クリニック院長	

11月	11月15日(木)	不整脈のクリニカルクエスチョンを考える ～日常診療の疑問を少しでも明快に！～	久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 先生	むらかみ内科循環器クリニック	28名
11月	11月19日(月)	明日からの不眠症治療薬 ～認知機能低下を防ぐために～	徳島県立中央病院 先生	むらかみ内科循環器クリニック	36名
2019年 1月	1月17日(木)	脳・神経外科で行う痛みの治療について	徳島大学病院 脳神経外科 先生	阿南共栄病院	18名
2月	2月21日(木)	てんかん診断と治療の基本 ～高齢者てんかんや新規抗てんかん薬の使用も含めて～	徳島大学病院てんかんセンター 副センター長 先生	阿南共栄病院	15名
(阿南地域医療 フォーラム) 8月	8月8日(水)	消化器癌の診断と治療法の進歩 ～病病連携、病診連携を目指して～	徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学 先生	阿南共栄病院・阿南中央病院	18名



学術講演会開催記録 平成30年度

例会	月日(曜日)	演 題	演 者	座 長	参加人数
平成30年4月	4月19日(木)	心不全における地域連携	徳島赤十字病院 循環器内科 先生	阿南中央病院	33名
5月	5月17日(木)	逆流性食道炎 up to date	おかむら内科クリニック 先生	阿南共栄病院	33名
6月	6月21日(木)	ハートチームでTAVI患者を診る！ 術前評価から慢性期抗凝固療法まで	徳島赤十字病院 第二循環器内科 先生	むらかみ内科循環器クリニック	26名
7月	7月19日(木)	糖尿病と骨粗鬆症の関連 ～骨粗鬆症治療薬の最新的话题を踏まえて～	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 生体機能解析学分野 先生	むらかみ内科循環器クリニック	24名
8月	8月9日(木)	多職種連携における肝炎医療コーディネーターの役割	徳島大学病院 肝疾患相談室 先生	あなん戸田皮膚科医院	17名
		C型慢性肝炎の最新治療	徳島県立中央病院 消化器内科 先生	阿南中央病院	
9月	9月28日(金)	高齢者の不眠治療 ～認知症対策も含めて～	香川大学医学部 精神神経医学講座 先生	岩城クリニック	56名
10月	10月18日(金)	循環器専門医が目指す糖尿病治療 ～SGLT2阻害薬をどう活かしていくか？～	名古屋大学大学院医学系研究科先進循環器治療学講座 先生	阿南中央病院	27名

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
会議室・講堂	226.89 m <sup>2</sup>	会議机 椅子 液晶プロジェクター マイク ホワイトボード レーザポインター 録音機 ビデオ
図書研究室	43.26 m <sup>2</sup>	会議机 椅子 書架 蔵書 パソコン コピー機

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院 長
管理担当者氏名	事務長

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		カルテ庫 フィルム保管庫 倉庫 資料室	移動ラック、書庫で各資料を年度別に分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医事課	/
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	病診連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院 長
閲覧担当者氏名	事務長
閲覧の求めに応じる場所	事務長室
閲覧の手続の概要	別紙③の通り

前年度の総閲覧件数		8 件
閱 覧 者 別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	8 件

# 診療情報提供の流れ

本人・代理権のある6親等以内の親族



受付

(各種必要書類等の記載に関する説明と確認)



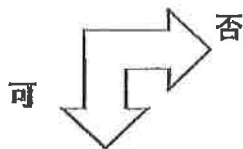
事務部長



情報提供推進委員会開示の可否決定



院長



県医師会情報提供委員会

主治医



本人・親族

☆各種必要書類等

1. 診療記録等の開示申請書
2. 委任状
3. 謄本(本人との関係を示す物)
4. 免許証又はパスポート
5. 開示請求の目的の確認

本人の場合確認は  
主治医、病棟・外来師長

- 申込みから開示まではおおむね1週間内に終了するようにする。
- 原則として閲覧以外の方法で実施するものとする。
- 主治医が不在の時、情報提供は各科の長・院長が指名したものが実施する。

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
第5回は平成30年6月26日に開催（別紙④のとおり） 第6回は平成30年11月30日に開催（別紙⑤のとおり）		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第5回阿南中央病院共同診療運営委員会

日時：平成30年6月26日(火)午後7時

場所：阿南中央病院 2F会議室

出席者：委員

欠席者

事務局

1. 委員長挨拶

より、委員長を始めとする新委員の紹介をした後、第5回阿南中央病院共同診療運営委員会開催の挨拶を述べる。

2. 平成28年度、平成29年度の状況報告

より、地域医療支援病院の要件として①病床数について②紹介率、逆紹介率について③高額医療機器の共同利用について④生涯教育等の研修について⑤救急医療を提供する能力について述べる。すべてに置いてクリア出来ているが、⑤については、阿南消防の救急出動件数は右肩上がりだが、医師の減少や高齢化により救急当番を返上した為、右肩下がりとなっており、要件をクリアするのが難しくなっていると述べる。

3. その他

より、阿南共栄病院の紹介率・逆紹介率ともに条件をクリア出来ている事を報告。

より、阿南医療センターは、地域中核病院となり、かかりつけ医との連携がますます重要となる。また、リウマチ、糖尿病、乳腺外科、形成外科(乳房再建術)等、特殊外来も検討していると述べる。

第6回阿南中央病院共同診療運営委員会

日時 : 平成30年 11月30日(金) 午後7時

場所 : 阿南中央病院 4階会議室

出席者 : 委員

欠席者 :

1. 委員長挨拶

より、阿南中央病院共同診療運営委員会開催の挨拶を述べる。

2. 平成29年度、平成30年10月末現在の状況報告

より、地域医療支援病院の要件として①病床数について②紹介率、逆紹介率について③高額医療機器の共同利用について、4月より呼吸器専門医が常勤である為BFが4割強増加。④生涯教育等の研修について⑤救急医療を提供する能力について述べ、以上すべての要件はクリアしていると述べる。

3. その他

医師会委員より、新病院(阿南医療センター)に向けての要望が多く上がる。

- 阿南消防の救急搬入件数が29年度2病院合わせて54%→70%にして欲しい。
- 夜間・休日診療所からの患者は出来るだけ受入してもらいたい。
- 夜間・休日診療所では、レントゲンが撮影出来ない為、阿南医療センターへ紹介。
- 専門医の充実(分野別にあれば理想)等

各質問に対し に対応する。



(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（地域連携室）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	
患者相談件数	6,990 件
患者相談の概要	
<p>介護保険についての説明 介護保険の新規申請・区分変更申請 介護保険施設への入所について 検査の説明 当病院への外来受診及び入院について 他院・他病院の受診科について 医療費等について 身体障害者の手続きについて 患者からのクレーム対応 成年後見についての説明</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。